

活動報告

公開講演会

「世界を歩くアフリカ人ジャーナリスト／日本人文化人類学者： アフリカ、ヨーロッパ、日本」

講師：ウマル・バリー（在仏アメリカ大使館）／阿毛 香絵（フランス社会科学高等研究院）

日時：2018年6月26日（火）12:50-14:20

場所：愛知県立大学長久手キャンパス B208 講義室

主催：愛知県立大学多文化共生研究所

共催：同地域連携センター

協力：同外国語学部アジア・新興国プログラム

使用言語：フランス語、日本語（双方向の通訳あり）

参加人数：約 45 人

フランス在住のご夫妻を講師として招き、異文化理解の視点と姿勢に関する学びを深める機会とした。バリーさんはフランス語で話し、阿毛さんは日仏通訳を兼ねながら、自身の話題も日本語で話すという形式を取った。国際関係学科専門科目「研究各論（文化人類学Ⅱ）」および「研究各論（アフリカ研究）」の受講学生が合流して参加するとともに、SNSなどを通じて行事のことを知った一般市民の参加があった。

ギニア出身のバリーさんは、自身の生い立ちと幼少期からのフランスへの移住経験について、また、日本出身の阿毛さんは、セネガルでの現地調査を経て、フランスの大学

院に留学した経緯を話した。さらに、2人がパリで出会って結婚し、共に子育てをするようになるまでの経緯について、結婚に伴う相互の出身地訪問や親族との出会い、結婚や家族をめぐる慣習・価値観のずれなどの話題も含め、2人のコミカルな対話と自筆のマンガによって紹介した。

多くの国籍、居住経験、言語経験をあわせもつ3人家族として、アフリカ、ヨーロッパ、日本と、国境を越えて活躍する自由な生き方と価値観から、学生たちや参加した市民は多くのことを学ぶことができた。講演終了後、講師2人を囲んで、学生たちや一般市民参加者と懇談の時間帯をもつこともでき、有意義な開催となった。（文責：亀井伸孝）

